

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童サポートセンターわたぼうし

公表日 2025年1月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・室内のスペースを有効活用して支援に対応できるスペースを確保	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		・常勤職員の確保
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・絵やイラストで案内表示	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	5		・参画できる時間の確保
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・年1回保護者から意見・要望を聴き、運営協議会で対応を検討	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3		・職員が意見を出しやすい環境づくり
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	・第三者による外部評価は実施していないが、保護者会の役員等を含めたわたぼうし運営協議会を設置	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	3		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	3		・年度内公表 ・事業所の支援プログラムは現在作成中で、近日中に公表予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	9	1	・個人的には、子や保護者と話をする中で、支援を進めていくように努力をしている それが支援計画に反映されているかは分からない	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2	・日常から関わりの深い職員を中心に声に出し、確認し合える環境づくりに努めている	・支援計画書原案など保護者にサインをもらう前に職員全員が目を通しているだけでも共通認識はできると思う そうすることで、児のことで相談を受けても、対応できる準備になると思う
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2	・閲覧用ファイルを設置し職員間で共有	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	・個々の子どもの状態を記入し、職員がいつでも確認できるようにしている	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・検討を繰り返した	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・子どもの状態に応じた活動の計画立案	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	・毎日朝礼（ミーティング）を実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	1		・地域交流がコロナ禍以降課題 ・地域活動が課題
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2	・担当者が難しい時は子どもの状態を確認し、児発管が参画、全体に報告 ・サ担に参加することで他機関での様子や意見交換ができるので、参加する意義はあると思う ・時間を調整して参加してみたいと思っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	3		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	7		・地域の児発センターが未 ・地域（市内）に支援センターがない
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	6		・コロナ禍で減少
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	・子の変化が見られた時にはその都度保護者と共通理解ができるよう話するよう心がけている	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	・おしゃべり会という勉強会を定期的に開催	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		一般保育所と同様年齢別にクラス分けした保育を実施	
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	34					
	35	【児発センターのみ】 のチェック項目				
	36					
	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2	・保護者同伴通園のため日常的に情報交換、相談を受けている	
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		・求められた場合等適時 ・就労もしくは20歳まで支援の内容等の記録を保存	
40	【放デイのみ】 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1			

保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	・説明以外に、運営規定、利用料金表等の掲示板への貼り出し	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			・モニタリング時に担当職員も一緒に参加できれば共通認識も高まるかも
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	3	・モニタリング時に対面でしっかり時間をとって丁寧に行っている	・計画書の説明時も一緒に参加できればさらに共通認識も高まるかも
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	・変化が見られた時には、保護者や児と話をすることを心がけている	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1		
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1	・内容によっては、関係団体（広域行政・市）職員と協議し対応	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		・掲示板や予約管理システムの一斉メールによる情報発信	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6		・コロナ禍以降行事の在り方検討 ・コロナ禍で中止
51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	・一刷のファイルにまとめてカウンターに設置	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3	・非常時計画書を策定 県警ホットラインを設置	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3	・非常時計画書をカウンターに設置	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1	・身体拘束は行わない 肢体不自由児の安全ベルト等必要性があるものについても保護者確認のもと行っている ・関係団体（広域行政・市）に報告、協議、対応の決定	